

# ちよだアートスクエア構想の提言

## ちよだアートスクエア検討会

### 1. アートスクエアの目的

#### 「生活の質を高める」

文化芸術は、人々の生活の質を高めるための重要な役割を果たす。千代田区は、文化的・歴史的に貴重な財産を多く持つことから、それらに関する情報を発信すると共に、有効に活用し、これにより、人々の様々な自己表現の場や交流の機会を提供する。その結果、人々の生活の質を高める役割を果たすことがアートスクエアの目的である。

### 2. アートスクエアの対象となる区民

#### 「アートスクエア区民」

アートスクエアの対象は、千代田区に、在住・在勤・在学する人々及び観光客(外国人を含む)など、千代田区とかわるすべての人々とする。

### 3. アートスクエアに盛り込む主な活動

- 歴史・文化を継承する活動
  - ① 無形文化財等の継承：国指定による重要無形文化財保持者（人間国宝）や重要無形文化財保持団体等の協力を得た活動を展開する。
  - ② 江戸文化の継承：江戸時代から続く歴史文化・伝統文化を学習し、継承し、発信する活動を行う。
  - ③ その他の文化の継承：出版や印刷、製本技術等の文化を継承する活動を推進する。
- 新しい文化を創造する活動
  - ① アートスクエア区民の文化芸術活動を支援  
日常的な活動から一歩進んだ質の高い活動へと発展させる。
  - ② 新たな文化の創造  
新たな文化を千代田から生み出し発信する。
  - ③ 人々の交流の輪の拡大  
文化芸術をコミュニケーションの手段として、発表や制作を行い交流を深める。
  - ④ 文化芸術活動の活性化  
活動を発展させるインセンティブ（誘引）として、コンクールや展覧会などの評価の場を提供する。

#### 4. 想定される活動支援策

項目	内容	支援策の例
1.活動・交流の場の提供	○アートスクエア区民の日常の活動や交流の場を提供する。	・練習場や稽古場の提供 ・ものづくりの場の提供
2.発表と評価の機会の提供	○活動の成果の発表と評価の機会を設け、活動意欲を高め、質の高い活動を支援する。	・コンクールの開催 ・文化芸術祭の開催
3.情報の収集と提供	○専門家に関する情報収集と提供を行う。 ○遺跡や文化財などの文字データ・画像データ等をデータベース化（デジタルアーカイブ <sup>1</sup> ）し、利用可能な情報として活用できる体制を整備する。 ○伝統芸能・伝統技術・歴史的資料等についての専門性の高い相談に対応できる機能を充実する。	・伝統芸能や伝統技術を持つ専門家の情報提供 ・歴史的建造物・遺跡・文化財の情報提供 ・著名作家のイベント紹介 ・活動の場の情報提供（公共施設等） ・相談コーナーの設置（専門的相談にも対応できるもの）
4.人・情報のコーディネート	○企業、大学等に対し、文化芸術事業への理解を求め、協働活動を促進する。 ○地域の活性化に向けた支援を行う。 ○文化芸術ボランティアの育成を図るとともに、後継者育成も視野に入れた、指導者育成を推進する。	・企業との共催事業の実施 ・地域イベントの連携支援 ・共同実施など ・ボランティア・後継者育成支援 ・古典芸能・文化体験教室等文化に触れる機会の提供 ・地域に密着した仕事場の提供（ボランティア活動を含む）

<sup>1</sup> デジタルアーカイブとは、歴史的・文化的資産や様々な分野の情報をデジタル映像やデジタル文章として保存・蓄積すること。インターネットなどを通じ、情報提供・閲覧することができる。

## 5. 文化芸術拠点の必要性

「ソフトとハードの両面から文化芸術活動の拠点づくりが必要」

【ハード面】

- 拠点の設置  
活動の拠点として常時使用できる、千代田区を象徴する施設を1箇所設け、その中に、情報発信の拠点としての機能も持たせる。
- 既存施設の活用  
既存区有施設を活用する。その他に、利用可能な公私立の小・中学校・高校や大学・専門学校をはじめ、企業のオープンスペース等の施設及び専門家の稽古場などを広く活用し、アートスクエア区民の活動の場を広げる。

【ソフト面】

- アートスクエアの活動対象  
活動はアートスクエアの目的に適合する分野を対象とする。
- アートスクエア運営組織の設置  
アートスクエアで実施する活動を、円滑かつ機能的に運営するために、専門のコーディネーターや地域住民等で構成する運営委員会を設置する。

## 6. アートスクエアの拠点設置場所

現状において、アートスクエアの拠点については、当面、区の活用策の決まっていない区有財産を、周辺地域の合意のもとに、地域に貢献する形で有効活用をすべきである。

また、財政的な側面からも、新たな施設を整備するより既存施設を活用する方が費用対効果において優れている。

現在、千代田区には旧学校施設が活用可能施設として存在し、アートスクエアの性格上も適していると考えられる。しかし、旧学校施設については、「区有財産活用懇談会」において、将来の恒久的活用方策について提言がなされている。

当「アートスクエア検討会」としては、旧学校施設である旧永田町小学校、旧今川中学校、旧練成中学校の3箇所について、下表のとおり優劣順位をつけたところであるが、当面の設置場所として旧練成中学校を活用することが望ましいと判断した。

候補施設に関するアートスクエアとしての適性の判定－優劣順位

アートスクエアとしての必要条件	展開する内容 (検討委員の意見をまとめたもの)	旧練成中	旧今川中	旧永田町小
○教室形式の個室・空間 (一定の数の教室)	◎地域の文化や産業の創造活動の場 ◎千代田区の伝統を守り、伝え、育てる場 ◎自分の得意な分野を発揮しモノを創る場 ◎同好者が集い、刺激し合い、楽しみを分かち合う場	1	3	2
○講堂・ホール・体育館・図書館・多目的ホール	◎江戸しぐさのような、日本人に受け継がれてきた習慣等を広める場 ◎芸能分野の「コンクール」の場 ◎大使館などを取り込んだ国際的な活動の場 ◎千代田区の出版文化を図書館方式等で伝える場	1	3	2
○交通アクセス		1	2	1

1が最も優れている。